



---

# 国別情報（モルドバ）

---

2026年1月

三菱UFJリサーチ＆コンサルティング  
海外環境協力センター（OECC）

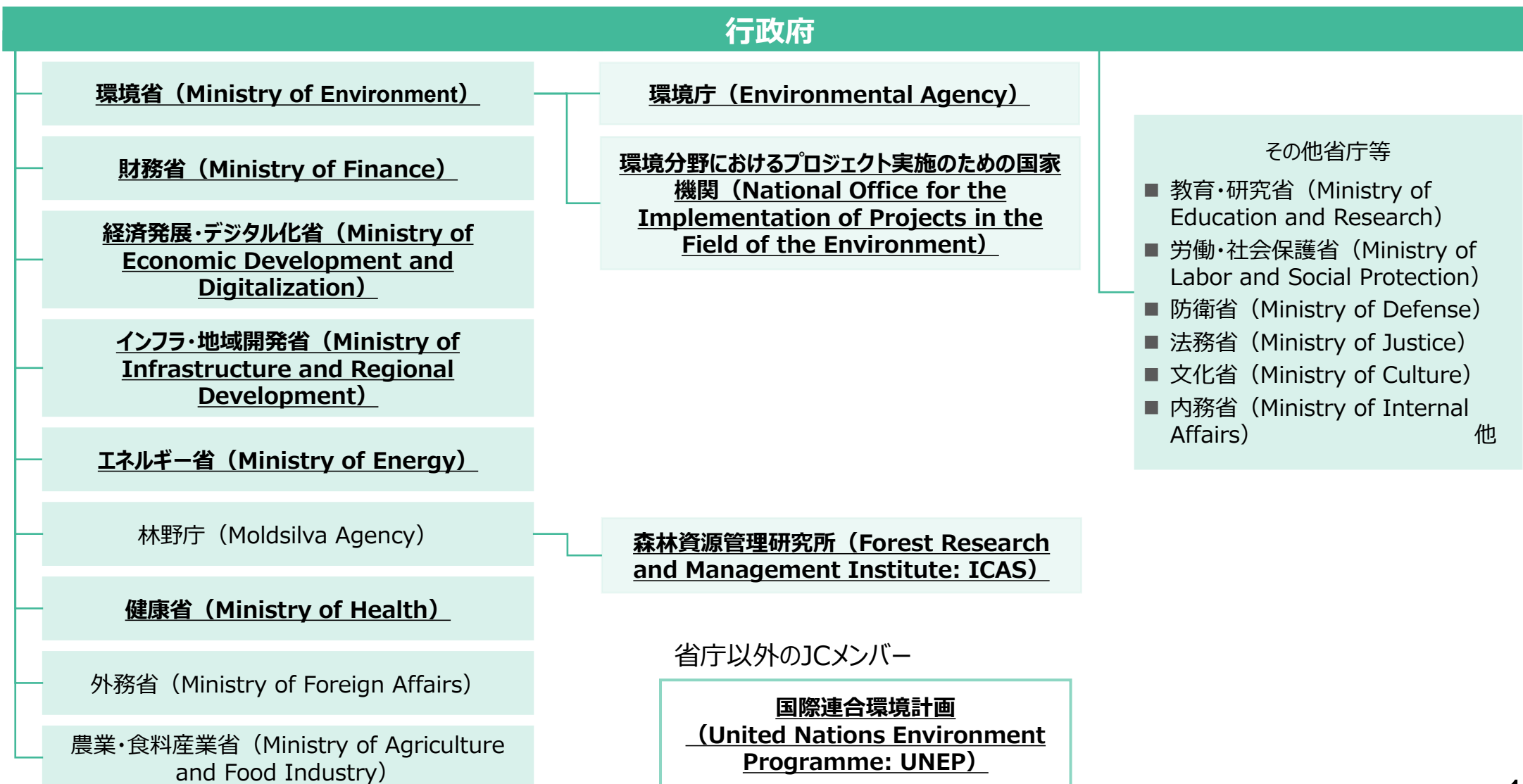


# モルドバ

## 1. 一般情報

### 省庁体制

※太字・下線はJCMの合同委員会メンバー



# モルドバ

## 1. 一般情報

### 経済情勢

- 主要産業（2021年産業別構造比）：  
卸・小売業（14.9%）、農林水産業（10.4%）、製造業（9.4%）、  
建設業（8.2%）、不動産（7.0%）情報通信（5.5%）（2021年：モルドバ国家統計局）
- GDP : 137億ドル（2021年：IMF）
- 1人当たりGDP : 5,280ドル（2021年：IMF）
- 経済成長率 : 13.9%（2021年：IMF）
- 物価上昇率 : 5.1%（2021年：IMF）

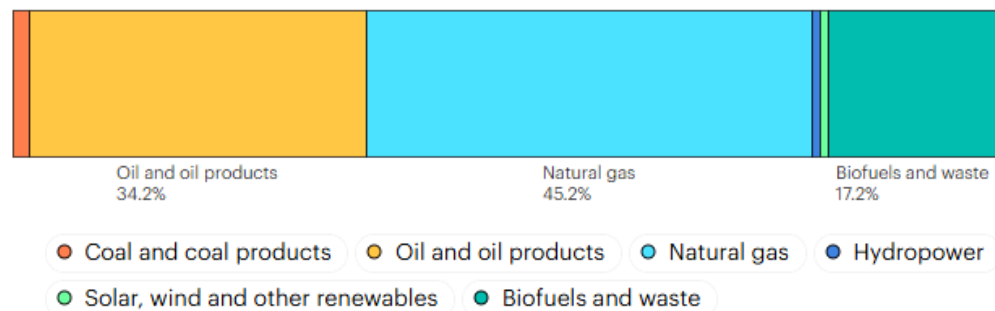
（出所）外務省「モルドバ共和国 基礎データ」（2023年4月12日）  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/moldova/data.html>, 2025年10月2日アクセス）

# モルドバ

## 1. 一般情報

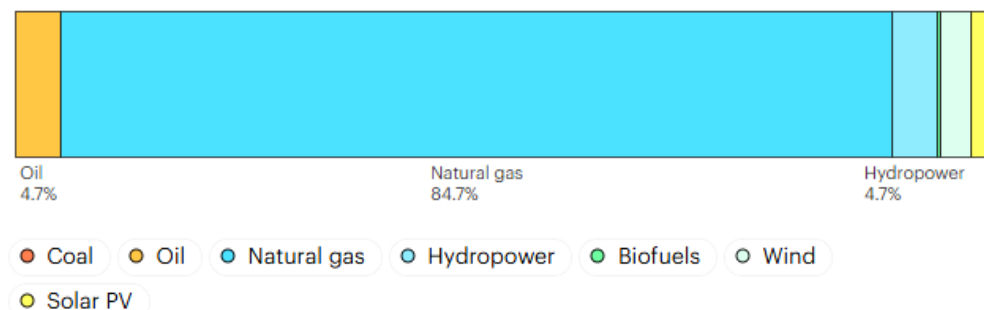
### エネルギー供給構成（2023年）

Total energy supply, Moldova, 2023



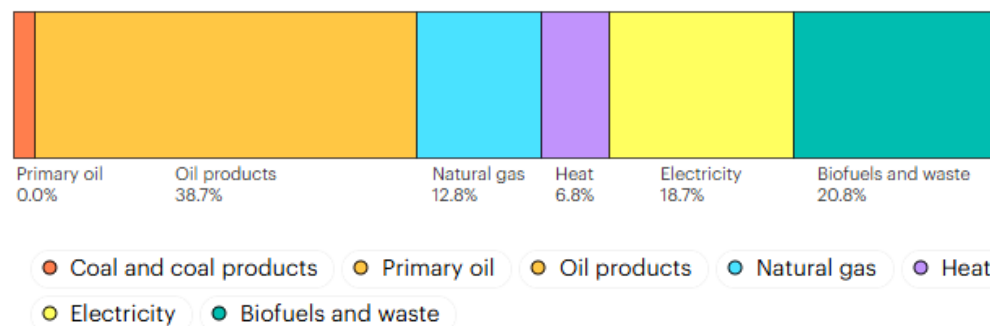
### 電源構成（2023年）

Electricity generation, Moldova, 2023



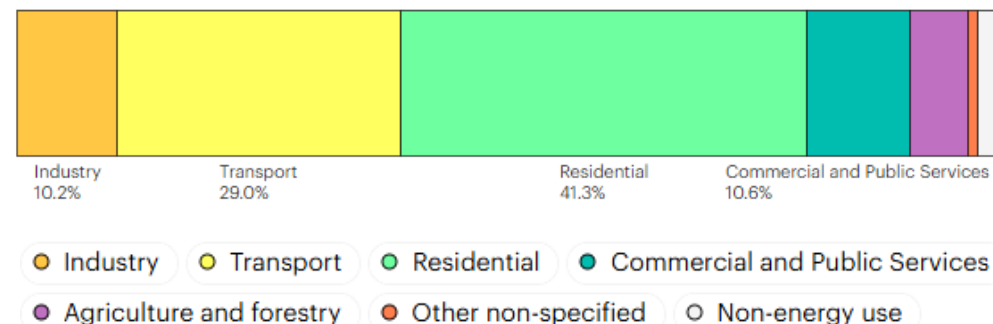
### エネルギー源別最終エネルギー消費（2023年）

Total final consumption, Moldova, 2023



### 部門別最終エネルギー消費（2023年）

Total final consumption, Moldova, 2023

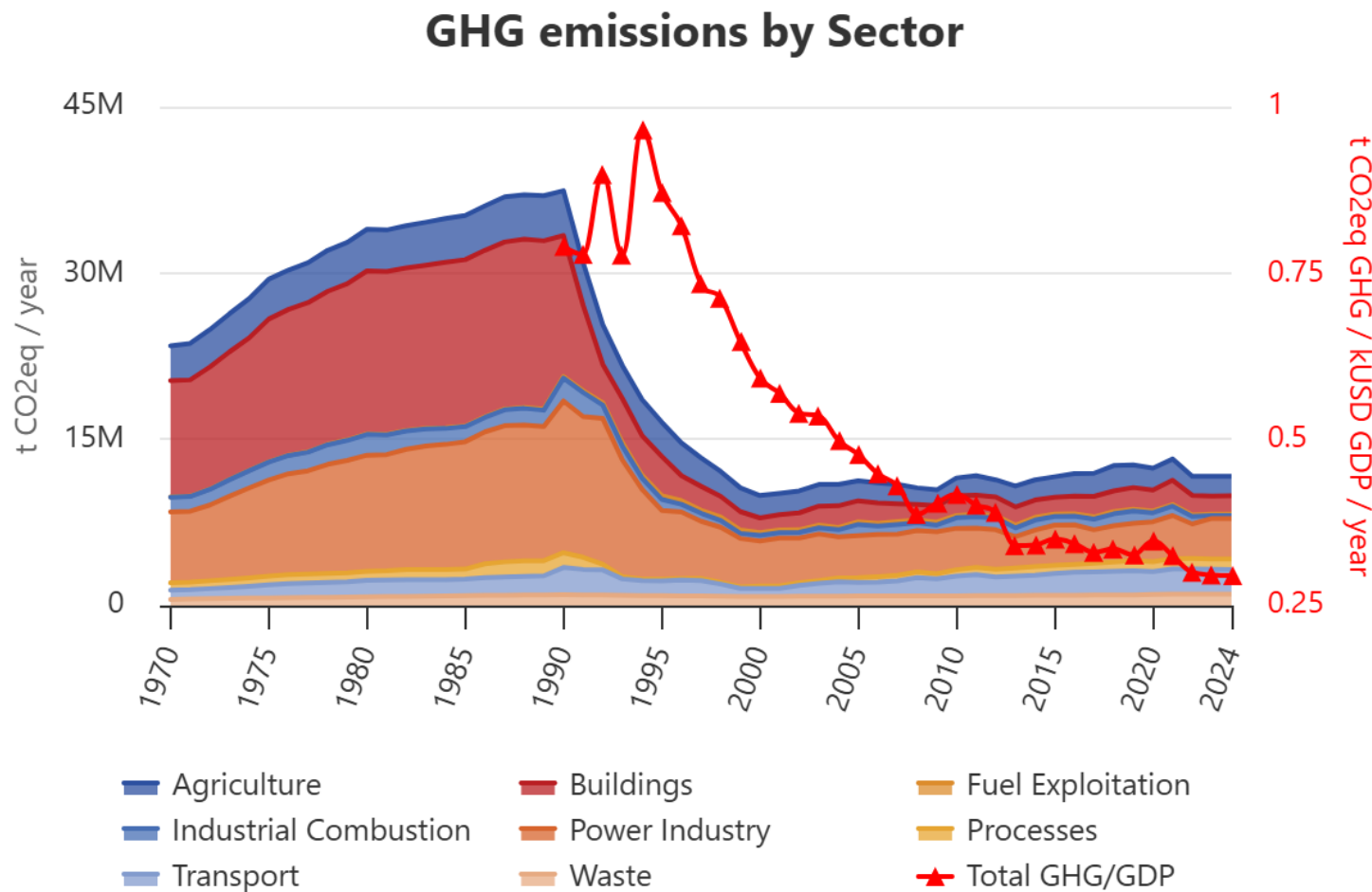




# モルドバ

## 1. 一般情報

### 温室効果ガス排出量の推移（1970年～2024年、LULUCF含まず）



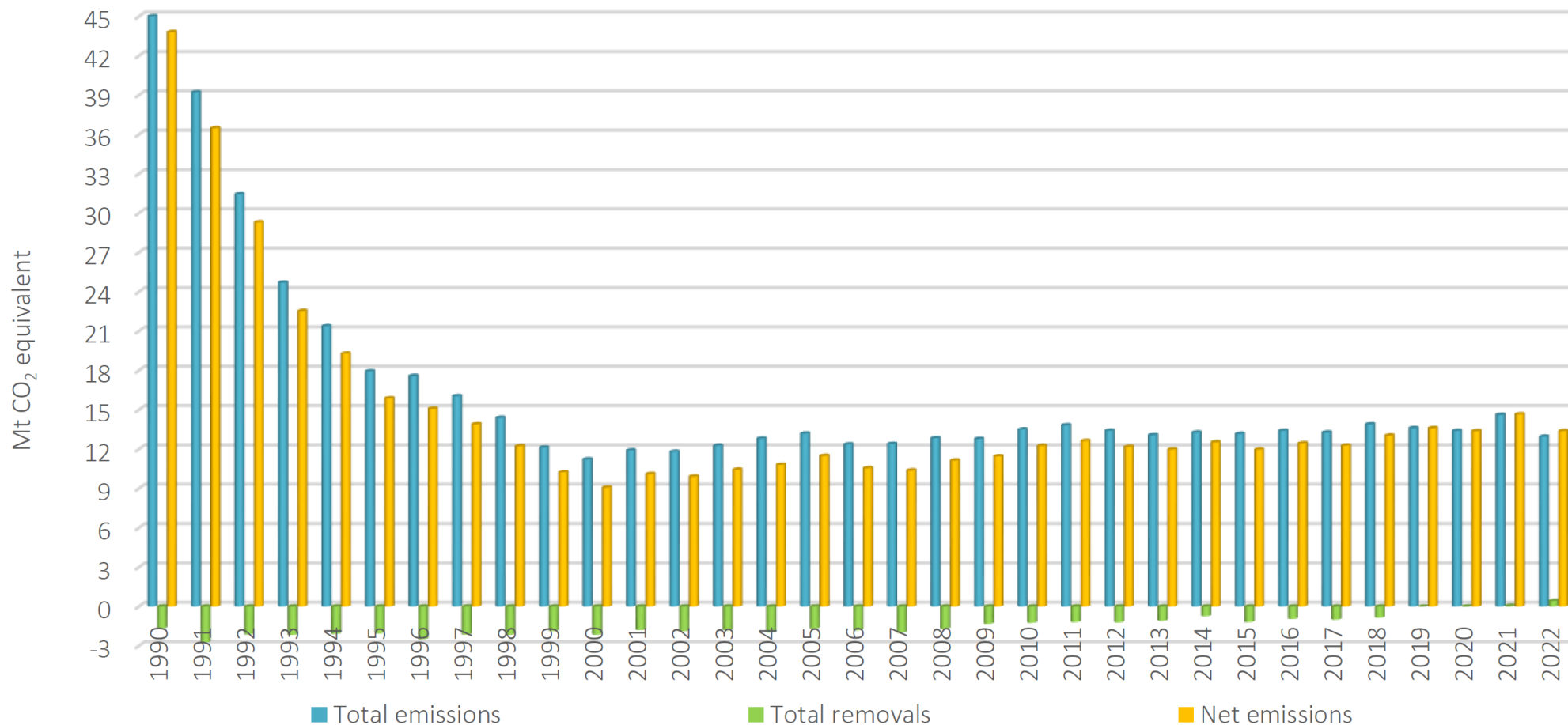
(出所) Crippa, M., Guizzardi, D., Pagani, F., Banja, M., Muntean, M. et al., GHG emissions of all world countries - 2025 Report, Publications Office of the European Union, Luxembourg, 2025, [doi:10.2760/9816914](https://doi.org/10.2760/9816914), JRC143227 ([https://edgar.jrc.ec.europa.eu/country\\_profile/MDA](https://edgar.jrc.ec.europa.eu/country_profile/MDA), 2025年10月3日アクセス)



# モルドバ

## 1. 一般情報

### 温室効果ガス排出量の推移（1990年～2022年）



(出所) "Nationally Determined Contribution 3.0" (2025年5月6日提出)

# モルドバ

## 1. 一般情報

### 温室効果ガス削減目標（NDC）

| 目標年   | 基準         | 対象    | 条件なし目標<br>(総GHG排出) | 条件なし目標<br>(メタン排出) |
|-------|------------|-------|--------------------|-------------------|
| 2030年 | 1990<br>年比 | 全セクター | 71%<br>削減          | 64%<br>削減         |
| 2035年 | 1990<br>年比 | 全セクター | 75%<br>削減          | 68%<br>削減         |
| 2050年 | —          | 全セクター | 気候中立               | —                 |

（出所）"Nationally Determined Contribution 3.0"（2025年5月6日提出）

※ 条件なし目標：国際的な支援が提供されない場合の排出削減目標

### 排出削減ポテンシャル（NDCの基準の排出量）

**4,381万tCO<sub>2</sub>e**（1990年総GHG排出量）

（出所）"Nationally Determined Contribution 3.0"（2025年5月6日提出）

### セクター別の温室効果ガス削減量、政策・対策

| セクター   | NDC2.0政策・対策によるGHG削減割合<br>(2019年比) |      | 政策・対策の概要                      |
|--------|-----------------------------------|------|-------------------------------|
|        | 条件付                               | 条件なし |                               |
| エネルギー  | 87%                               | 81%  | 再生可能エネルギー導入拡大、送配電網における損失の削減等  |
| 運輸     | 55%                               | 52%  | バイオ燃料の使用拡大等                   |
| 建築     | 77%                               | 74%  | 建築物におけるエネルギー消費量の削減等           |
| 産業     | 31%                               | 27%  | エネルギー効率削減、HFCの使用の段階的削減等       |
| 農業     | 47%                               | 44%  | 持続可能な農業の推進、家畜ふん尿のバイオガス発電への利用等 |
| LULUCF | 391%                              | 10%  | 植林面積の拡大、火災発生リスクの高い森林の縮小等      |
| 廃棄物    | 18%                               | 14%  | 地域廃棄物処理インフラの整備、上下水道のインフラ改善等   |

※前回NDC（NDC2.0）に沿って提出されたBURに基づき作成。NDC2.0の2030年目標は1990年比で無条件70%削減。

（出所）"Third Biennial Update Report of the Republic of Moldova"（Environment Agency of the Republic of Moldova et al., 2021）より作成

# モルドバ

## 1. 一般情報

### 各種政策・戦略

| 各種政策・戦略   | 概要  |
|---|---|
| <b>国家開発戦略「欧州モルドバ2030」</b><br>(National Development Strategy (NDS)<br>"European Moldova 2030") | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2022年に策定。</li> <li>● 戦略的開発ビジョンと2030年までに達成すべき4つの優先事項として、持続可能かつ包括的な経済成長、長期の人的・社会的資本、公正かつ効率的な組織、健全な環境が掲げられている。</li> </ul>   |
| <b>国家エネルギー・気候計画2025-2030</b><br>(National Energy and Climate Plan (NECP)<br>2025-2030)        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2025年2月に政府承認された計画。</li> <li>● 2030年までに最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を27%に向上させ、2050年までに2020年の39倍以上に増加させる目標を掲げている。この目標は主に、太陽光発電や風力発電の導入拡大により達成されるとしている。</li> <li>● 建築部門の2030年までのエネルギー効率の目標も定めており、暖房平均効率を家庭用は69%（2020年は66%）、サービス業は86%（2020年は82%）とすることを目標に掲げている。</li> </ul> |
| <b>モルドバエネルギー戦略2050</b><br>(Energy Strategy of Moldova 2050)                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2013年の政府決定により承認された、エネルギー戦略2030の後継となる戦略。</li> <li>● エネルギー戦略2030では、2020年までに最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を20%とすることを目標としていたが、2020年にはそれを上回る25%となり目標を達成した。</li> <li>● エネルギー戦略2050では、2030年（または2035年）からの非ハイブリッド車の輸入禁止（購入抑制）や鉄道貨物輸送の電化等の目標が定められている。</li> </ul>                  |
| <b>環境戦略2024-2030</b><br>(Environmental Strategy 2024-2030)                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2024年に政府承認された計画。</li> <li>● 環境保護、気候変動、天然資源分野のセクター別戦略が掲げられている。また、良好な環境ガバナンス、気候変動の緩和と適応等のサブセクターにおいて、2030年までの国家優先課題と目標が設定されている。</li> </ul>  |



# モルドバ

## 2. 国内制度

- 炭素税やクレジット制度等のカーボンプライシング制度は確認されていない。
  - モルドバでは、EU排出量取引制度（EU ETS）に沿った国内ETS制度が計画されており、2022年にモルドバ政府が発表した「2050年までのエネルギー戦略構想」において、EU ETSの国内導入計画が示されている。
  - 2024年4月に施行された気候行動に関する法律では、炭素排出の価格付けに関する原則が規定されており、炭素税や排出量取引制度の導入を支える排出量のモニタリング・報告・検証（MRV）メカニズム開発の法的根拠を提供している。

### ● FIT制度

- 再生可能エネルギープロジェクトに対する15年間のFIT制度導入に関する法律が2018年に施行された。
- 本法では、風力発電は4MW、太陽光発電、バイオマス・バイオガス発電、水力発電は1MWと、FITを適用可能な各再生可能エネルギー技術の容量上限が定められている。
- 容量上限を上回る発電所については技術別の入札が実施され、総容量113MW（風力発電は80MW、太陽光発電は25MW、バイオマス・バイオガス発電は8MW）までの固定価格での買取が保証されている。

（出所）パリ協定6条実施パートナーシップウェブページ（<https://a6partnership.org/partners/moldova>, 2025年9月4日アクセス）、“State and Trends of Carbon Pricing 2023”（世界銀行, 2023）、“Nationally Determined Contribution 3.0”（2025年5月6日提出）、“CREATING MARKETS IN MOLDOVA”（世界銀行, 2023）



# モルドバ

## 3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

### 承認 (Authorization)

#### 承認体制

- 環境庁が承認を実施。
  - ・ NDC（2025年提出）では、NDCの進捗状況の追跡と算定において、パリ協定4条及び6条、その他適用可能なガイダンスに準拠し、政府がNDC への活用を承認した国際的に移転される緩和成果（ITMOs）や他の国際緩和目的のために承認した緩和成果について、相当調整を行うとしている。

#### 登録簿

- 確認されていない。

### 初期報告・BTR・インベントリ等の提出状況

#### 初期報告

- 未提出

#### 隔年透明性報告書 (BTR)

- 2025年1月29日提出

#### インベントリ等

- 2023年3月1日にNC5を提出
- 2021年12月21日にBUR3を提出

#### 6条4項ホスト締約国参加要件様式

- 未提出

#### 6条承認レター

- 未提出

（出所）“Nationally Determined Contribution 3.0”（2025年5月6日提出）、UNFCCCウェブページ“CARP”（<https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement/cooperative-implementation/carp>, 2026年1月7日アクセス）、UNFCCCウェブページ“Reports”（<https://unfccc.int/reports>, 2026年1月7日アクセス）、UNFCCCウェブページ“Designated National Authorities (DNAs)”（<https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement/article-64-mechanism/national-authorities>, 2026年1月7日アクセス）



# モルドバ

## 4. JCM概要（2025年12月時点）

二国間文書の署名：2022年9月6日

### ルール・ガイドラインの整備状況

| 区分    | 整備事項   | 状況    |
|-------|--|-------|
| 共通事項  | 基本的な一連のルール・ガイドライン類   | 済     |
|       | プロジェクトアイデアノート（PIN）に関する手続きの導入<br>（実施規則、プロジェクトサイクル手続き）                                   | 済     |
|       | パリ協定第6条への対応<br>（実施規則、プロジェクトサイクル手続き、提案方法論開発ガイドライン、プロジェクト設計書・モニタリング報告書<br>開発ガイドライン）      | 済     |
|       | ISO 14064-2:2019、ISO 14064-3:2019、ISO 14065:2020への対応<br>（第三者機関指定ガイドライン、妥当性確認・検証ガイドライン） | 改定準備中 |
|       | 持続可能な開発関連のガイドラインの採択  | 済     |
| 分野別事項 | なし   | —     |

# モルドバ

## 4. JCM概要（2025年12月時点）

承認方法論：0件

登録済みプロジェクト：0件

発行済みクレジット：0 tCO<sub>2</sub>（両国合計）

第三者機関：0機関

### 経済産業省 JCMインフラ整備調査事業採択案件：1件

| 事業名   | 採択年度 |
|---|------|
| モルドバ共和国におけるエタノール蒸留残渣を利用したバイオガス化事業に向けたJCM実現可能性調査 | 令和5年 |



## モルドバ

### 5. 日本（JCM）以外のパリ協定6条に基づくアプローチ

- 6条に関する方針
  - ・ 前回NDC（2020年提出）では、条件付き目標を達成するために、二国間、地域間、国際的な市場メカニズムを利用する方針であるとしていた。
  - ・ 現行NDC（2025年提出）では、日本とJCMのパートナー国になったことについて言及し、JCMを活用して両国のNDC達成に貢献するとしている。
- 日本以外との国とのパリ協定6条に基づくアプローチ
  - ・ 確認されていない。

（出所）"Updated Nationally Determined Contribution of the Republic of Moldova" (2020年3月4日提出)、"Nationally Determined Contribution 3.0" (2025年5月6日提出)

## モルドバ

### 6. 固有の制度・工夫

#### ● 分野ごとの取組

##### 【再エネ】

- EUとの制度整合性を高め、持続可能なエネルギー転換を加速中。2030年までに700MWの導入が計画されているが、現在の導入量は約400MW（太陽光230MW、風力170MW）。
- 太陽光発電は、EUからの波及効果もあり既に一定の導入実績があることから、2050年に必要となる1600MW目標に向けて拡大が期待されている。例えば、UNDPと政府が連携して進めるプログラムにて、エネルギー脆弱層支援、地方自治体・公共施設への太陽光導入などを進めている。
- また、EUの支援による「エネルギー危機対応プログラム」では、特に建築部門に焦点を当て、省エネ改修や再エネ設備導入を推進している。
- 太陽光発電を主軸とするが、この他にも、風力発電、バイオマス・バイオガス、グリーンモビリティとの統合などによる排出削減を目指す。

##### 【AI活用による省エネ】

- 2025年に承認された「エネルギー部門のデジタル変革プログラム（2026-2030）」では、スマートメーターの全国展開とAIによるリアルタイム消費分析が柱となっている。2030年までに50万台のスマートメーターを設置し、エネルギー損失を最大10%削減する計画。



# モルドバ

## 7. コミュニケーション履歴

↓ 会議名をクリックすると会議資料のページにリンクします。

| Subject  | Date      | Agenda                 |
|--|-----------|------------------------|
| <a href="#">1st Joint Committee in Chisinau and Online</a> | 25-Sep-24 | 詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照 |